

第 25 回介護福祉士国家試験【午後分（問題 69～問題 120）】

やまだ塾の解答速報(1月27日実施分)

2013年1月29日 13:00 掲載

- 変更はその都度行う。(変更分は青字で表示する)

科目	問題	やまだ塾の解答	(参考) 簡易解説
発達と老化の理解(8問)	69	②	<p><ハヴィガースト(Havighurst, R.)の示した児童期(中期児童期)の発達課題> ②「児童期」として適切である。 他の選択肢を確認すれば, ①:乳幼児期, ③青年期, ④乳幼児期, ⑤青年期</p>
	70	④	<p><現在の状況になったきっかけ> ④喪失体験とは, 家族・友人の死, 大切な物の喪失などである。</p>
	71	③	<p><ライチャード(Reichard, S.)の老年期における人格の5類型のうち相当するもの> ③装甲(自己防衛)型は, 老化に抵抗し防衛し, 精力的で活発な活動をする。</p>
	72	①	<p><流動性知能> ①流動性知能は, 新しい場面に適応したり, 経験したことがない問題を解決するときに働く知能で, 生まれつきの能力といわれる。</p>
	73	⑤	<p><老化に伴う視覚の変化> ⑤網膜照度が低下するため, 照明照度が高くなる。</p>
	74	②	<p><高齢者の排尿障害> ②女性は, 尿道が短く, 圧抵抗が減弱しやすいため, 尿がもれる状態になりやすい。高齢女性においては, 腹圧性尿失禁が最も多</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2013 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

			い。
	75	④	<p><老化に伴う循環器系の変化></p> <p>④加齢に伴い心臓の心筋の収縮力が弱まり、不整脈の頻度は老化に伴い著しく増える。</p>
	76	③	<p><日本高血圧学会のガイドラインで、それ以上が高血圧（Ⅰ度）とされる収縮期血圧値 / 拡張期血圧値(mmHg)></p> <p>③ガイドラインでは「140-159/90-99mmHg」とされている。</p>
認知症の理解(10問)	77	④	<p><認知症(dementia)の人に対する地域密着型サービス></p> <p>④認知症の地域密着型サービスとして、(介護予防)認知症対応型通所介護、(介護予防)認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護がある。</p>
	78	①	<p><小規模多機能型居宅介護></p> <p>①家庭的な環境と地域住民との交流の下で、利用者がその有する能力に応じその居宅において自立した日常生活を営むことができるようにする。</p>
	79	①	<p><認知症(dementia)の中核症状></p> <p>①中核症状は、記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下などである。</p>
	80	④	<p><せん妄(delirium)></p> <p>④薬剤性せん妄を起こす可能性のある治療薬は、オピオイド、ベンゾジアゼピン系薬剤、抗コリン薬、コルチコステロイド、H2受容体拮抗薬、抗ヒスタミン薬、抗痙攣薬、睡眠薬、三環系抗うつ薬、抗パーキンソン病薬、降圧薬などである。</p>
	81	①	<p><レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)の症状></p> <p>①レビー小体型認知症の幻視は、人物や小動物が出てくるといった具体的な内容が繰り返</p>

			返し出現するのが特徴である。
	82	①	<p><血管性認知症 (vascular dementia) と比べたとき, アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) により多くみられる特徴></p> <p>①アルツハイマー型認知症の特徴として, 大脳の後半部 (側頭葉, 頭頂葉, 後頭葉) の萎縮が次第に進むことで, 男女比では, ほぼ 2:3 で女性に多いといわれる。</p>
	83	⑤	<p><適切な治療をすれば, 認知症 (dementia) の症状が大きく改善する可能性がある疾患></p> <p>⑤手術で劇的に改善する認知症としては, 正常圧水頭症と慢性硬膜下血腫がある。</p>
	84	⑤	<p><認知症 (dementia) の行動・心理症状 (BP SD)></p> <p>⑤「行動症状」としては, 暴力, 暴言, 徘徊, 拒絶, 不潔行為等であり, 「心理症状」としては, 抑うつ, 不安, 幻覚, 妄想, 睡眠障害等がある。</p>
	85	③	<p><高齢者の認知症 (dementia) の人への対応></p> <p>③見当識を効果的に支援するため, 居室やトイレなどの位置が分かりやすいように, サインや絵などの目印を用いるのは適切である。</p>
	86	⑤	<p><認知症 (dementia) の妻を自宅で介護している夫に最初に行う対応></p> <p>⑤介護者の感じている気持ちを共感することが, 介護の継続にとって最も重要である。</p>
障害の理解 (10 問)	87	⑤	<p><片麻痺のある人の ICF (国際生活機能分類) における「活動制限」></p> <p>⑤「活動」とは, 生活行為, すなわち生活上の目的をもち, 一連の動作からなる, 具体的な行為のこととされている。「活動制限」とは, 「活動」に問題が生じた状態である。したがって, 「トイレに行けない」は正しい。</p>

	88	③	<p><2002年(平成14年)の「障害者基本計画」の基本理念で、ノーマライゼーション(normalization)とともに位置づけられているもの></p> <p>③「障害者基本計画」において、「新長期計画における「リハビリテーション」及び「ノーマライゼーション」の理念を継承する」と明記されている。</p>
	89	⑤	<p><片麻痺のある人が自走用標準型車いすを自分で操作しやすくする方法></p> <p>⑤座シート前座高は、移乗しやすい高さにする。健側の足で操作することも考慮し、かかとが床に着く高さに調節する。</p>
	90	④	<p><高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の1つである遂行機能障害></p> <p>④遂行機能障害の症状は、優先順位が決められない、行動の途中で混乱する、計画が立てられない、自分勝手に行動してしまう、段取りがわるく要領良くできない、無計画にお金を使うなどである。</p> <p>他の選択肢を確認すれば、 ①:記憶障害, ②:注意障害, ③行動と情緒の障害, ⑤注意障害</p>
	91	③	<p><うつ病(depression)者への対応></p> <p>③置かれている状況のつらさを理解しようとする共感的な姿勢が大切である。</p>
	92	②	<p><ダウン症候群(Down's syndrome)の原因></p> <p>②ダウン症候群は、遺伝子を含む染色体の異常で、21番目の染色体が普通は2本のところ3本ある。</p>
	93	②	<p><広汎性発達障害(pervasive developmental disorder)></p> <p>②広汎性発達障害の主な特徴は、他人との関係をつくるのが苦手、他人に意志を伝えることや理解することが苦手、変化に対応する</p>

			ことが苦手などである。
	94	①	<p><障害受容の過程にみられる「抑圧」> ①障害の否認は、弱い自我が圧倒的な現実に直面してとる防衛反応(抑圧)である。</p>
	95	③	<p><相談支援専門員の業務> ③相談支援専門員の主な業務は、サービス全般にかかる相談、サービス利用計画の作成に関する業務、地域自立支援協議会等の場において、利用者支援から明らかになった課題の提案や協議をする等である。</p>
	96	③	<p><脳性麻痺(cerebral palsy)がある男性を居宅介護する母親に対する介護職の支援> ③母親の介護負担を軽減し、介護を継続するためにできる介護職の支援としては、腰痛対策の方法の提案は適切である。</p>
こころとからだのしくみ(12問)	97	⑤	<p><介護福祉施設に入所した者の精神状態> ⑤「抑うつ気分」とは、「憂うつである」「気分が落ち込んでいる」などと表現される症状であり、「抑うつ状態」とは抑うつ気分が強い状態である。</p>
	98	①	<p><若いときに習得した技術や技能の記憶は、高齢になっても長く保存されていることが多いという「記憶」> ①手続き記憶は、「技能を繰り返し経験、練習することにより、その操作の規則性を学習、獲得するもので、個々の運動や操作の結果等の記憶にはよらないもの」とされている。</p>
	99	⑤	<p><関節の運動と筋の収縮> ⑤上腕三頭筋は、肘関節を伸展させる作用がある。</p>
	100	⑤	<p><動脈血が流れている部位> ⑤全身から返ってきた血液は、右心室から肺動脈を通過して肺に運ばれ、そこで酸素を取り込み動脈血となって肺静脈を通過して左心房に返ってくる(小循環)。</p>

	101	⑤	<p><高齢者の転倒による骨折として、最も少ないもの></p> <p>⑤高齢者の4大骨折は、大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨頸部骨折である。したがって、選択肢の中で、最も少ないのは骨盤骨折である。</p>
	102	③	<p><胃ろうとその造設></p> <p>③胃ろうチューブにはボタン型とチューブ型があり、それぞれにバルーン型とバンパー型があるので、基本は4パターンである。高齢者の介護ではチューブ型、本人が無意識に引っ張ってしまう場合(自己抜去)はボタン型が基本になる。</p>
	103	④	<p><栄養管理が必須であるもの></p> <p>④慢性腎不全は、継続的治療(生活習慣改善<食事療法・運動療法など>を含めた総合的治療)が必要である。</p>
	104	④	<p><皮膚疾患のうち、真菌(カビ)が原因で起こるもの></p> <p>④白癬は、数種の真菌が原因でおこる皮膚感染症で、足白癬(水虫)、頭部白癬(しらくも)、体部白癬(ゼニダムシ)、股部白癬(インキンタムシ)、手白癬、爪白癬などがある。</p>
	105	③	<p><仙骨部の皮膚が赤くなっている場合の入浴の介護の注意点></p> <p>③仙骨部の皮膚炎は褥瘡を発生しやすくなる。入浴時には皮膚を強く擦らないで洗うことが大切である。</p>
	106	④	<p><便秘の原因となるもの></p> <p>④便秘は、最もよくみられる「モルヒネなどオピオイド鎮痛薬」の副作用のひとつであり、開始直後から継続的にみられる。</p>
	107	②	<p><「急に強い尿意を感じて我慢できなくなる」という症状の原因></p> <p>②「過活動膀胱」は、膀胱が、過敏な働きをして、尿が十分溜まっていないのに急に我慢で</p>

			きない尿意が起こったりする。
	108	②	<p><不眠の原因となるもの></p> <p>②カフェインを摂取すると交感神経が刺激されて興奮状態になり、不眠の原因となる。</p>
総合問題(12問)	109	①	<p>(3問事例1)</p> <p><介護職が行うグリーフケア></p> <p>①本人の気持ちに寄り添うことが重要である。本人の了解のうえで、思い出を語りあうことはグリーフケアにつながり、集った者同士が近況報告をし、交流の場ともなり、適切である。</p>
	110	②	<p>(3問事例1)</p> <p><日常生活の中で、合併症の早期発見のために、介護職が観察すべき視点></p> <p>②血糖値が多少高い程度の状態では、自覚症状はほとんどないために、糖尿病を治療していない人が少なくないといわれる。その中でも、糖尿病の眼の合併症は進行しており、網膜症以外にも、白内障をはじめ、さまざまな病気が生じる。したがって、「視力の低下の有無」は適切である。</p>
	111	①	<p>(3問事例1)</p> <p><介護職が行った支援></p> <p>①信頼関係が成立していることが前提であるが、介護職の温かい励ましは、高齢者の元気で生きようとする意志により影響をもたらすと思われる。</p>
	112	③	<p>(3問事例2)</p> <p><介護老人福祉施設の孤立している入所者への介護職の対応></p> <p>③「今の生活についての思いを聴く」という傾聴の姿勢は適切である。</p> <p>他の選択肢を確認すれば、①「励ます」、②「何度も促す」、④「説明する」、⑤「希望どおりにする」は不適切である。</p>

	113	③	(3 問事例 2) <症状> ③消去法で、「本人の身体的な要因や、周囲の状況が影響を与える」が解答として導き出せる。
	114	⑤	(3 問事例 2) <現在の生活を改善するための介護職の対応> ⑤「明るい表情で介護職に自慢することがある」が解答への手がかりになる。
	115	②	(3 問事例 3) <訪問系サービスを依頼するとき、優先的に使用するサービスを規定している制度> ②関節リウマチは、介護保険法の「特定疾患」であること。kさんは「第2号被保険者」(40～64歳)であること。から「要介護認定」を受ければ、「介護保険サービス」を受けることができる。
	116	②	(3 問事例 3) <トイレトペーパーを右斜め前方に設置する場合の高さ> ②肩関節や肘関節の可動域が狭いという説明から、「上腕骨中間部」が適切である。
	117	⑤	(3 問事例 3) <自立した食事を継続するために必要なスプーンの工夫> ⑤「右利きであり、食べ物を口まで運ぶことが難しくなっている」ことから、「すくう部分を左に曲げる」が適切である。
	118	③	(3 問事例 4) <アスペルガー症候群の障害特性> ③「興味のあることはよく友達と話をしたが、話が終わらないこともあり」との説明や他の選択肢を消去法を用いれば、「自分のことばかり話す」が解答として導き出せる。

	119	⑤	<p>(3 問事例 4) <介護職の対応> ⑤事例文から「L君と一緒に予定を確認する」が解答として導き出せる。</p>
	120	④	<p>(3 問事例 4) <障害者自立支援法に基づくサービスで活用できるもの> ④「行動援護」は、自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行うものであり、適切である。 他の選択しを確認すれば、 ①自立訓練は、自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行う。 ②同行援護は、視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供(代筆、代読を含む)、移動の援護等の外出支援を行う。 ③重度障害者等包括支援とは、介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う。 ⑤コミュニケーション支援は、地域生活支援事業における市町村事業のコミュニケーション支援事業に該当するサービスで、聴覚、言語機能、音声機能、視覚等の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために、手話通訳や要約筆記、点訳等を行う者の派遣などを行う。</p>